

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年7月11日 (2013.7.11)

【公表番号】特表2012-528225(P2012-528225A)

【公表日】平成24年11月12日 (2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-047

【出願番号】特願2012-512514(P2012-512514)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 1/72 (2006.01)

C 1 1 D 3/10 (2006.01)

C 1 1 D 3/08 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 1/72

C 1 1 D 3/10

C 1 1 D 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月27日 (2013.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

他の態様では、本発明は、予浸洗剤組成物であり、約 3 0 質量% ~ 約 8 0 質量% の範囲のアルカリ源、約 1 5 質量% ~ 約 3 5 質量% の範囲の金属保護剤、約 2 質量% ~ 約 1 0 質量% の範囲の界面活性剤、約 5 質量% ~ 約 2 0 質量% の範囲の水、約 0 . 2 質量% ~ 約 2 質量% の範囲の閾値剤 ( threshold agent )、約 2 質量% ~ 約 8 質量% の範囲の結合剤、ならびに結合剤および硬水改質剤として機能するポリマー混合物を含んでいる。この予浸洗剤組成物は、このポリマー混合物中のそれぞれのポリマーを、約 0 . 5 質量% ~ 約 5 質量% の範囲で含んでいる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

この浸漬用組成物中で用いることができる消泡剤の例としては、エチレンオキシド / プロピレンオキシドブロック共重合体、例えばPluronic N3の名称で入手可能なもの、シリコン化合物、例えばポリジメチルシロキサン中に分散したシリカ、ポリジメチルシロキサン、および官能化ポリジメチルシロキサン、例えばAbil B9952の名称で入手可能なもの、脂肪酸アミド、炭化水素ワックス、脂肪酸、脂肪酸エステル、脂肪族アルコール、脂肪酸石鹸、エトキシレート、鉱油、ポリエチレングリコールエステル、アルキルリン酸エステル、例えばリン酸モノステアリルなどが挙げられる。消泡剤の議論は、例えば、Martinらの米国特許第3,048,548号明細書、Brunelleらの米国特許第3,334,147号明細書、およびRueらの米国特許第3,442,242号明細書中に見られ、これらの開示を参照することによって本明細書の内容とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

【表 1】

表 1

成分	
アルカリ源、質量%	30-80
金属保護剤、質量%	15-35
界面活性剤、質量%	2-10
水、質量%	5-20
結合剤、質量%	2-8
閾値剤、質量%	0.2-2
ポリマー混合物中のそれぞれのポリマー、質量%	0.5-5

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

器物から汚れた表面を取り除くための、脱脂および金属保護特性を有する固体の浸漬用組成物であって、

- (a) 30 質量% ~ 70 質量% のアルカリ源；
- (b) 15 質量% ~ 35 質量% の金属保護剤；
- (c) 2 質量% ~ 10 質量% の界面活性剤、該界面活性剤は、3 モルのエチレンオキシドを備えた  $C_{11}$  直鎖アルコールと、直鎖の  $C_{12} - C_{14}$  第一級アルコールのエトキシレートの 7 モルとを含むアルコールエトキシレートである；
- (d) 5 質量% ~ 20 質量% の水；
- (e) 0.2 質量% ~ 2 質量% の閾値剤；ならびに
- (f) 2 質量% ~ 8 質量% の結合剤および硬水改質剤として機能するポリマー混合物、該ポリマー混合物は、それぞれが 0.5 質量% ~ 5 質量% のポリマレイン酸およびポリアクリル酸ナトリウムからなっており、かつ該ポリマレイン酸およびポリアクリル酸ナトリウムは 1 : 1 の比率で存在する；

を含んでなる、固体の浸漬用組成物。

【請求項 2】

前記浸漬用組成物が、少なくとも 3000 ppm の濃度を有する、請求項 1 記載の固体の浸漬用組成物。

【請求項 3】

前記浸漬用組成物が、使用溶液を形成するように希釈することができる、請求項 1 記載の固体の浸漬用組成物。

【請求項 4】

基質から汚れた表面を取り除く方法であって、

- (a) 脱脂および金属保護特性を有する組成物を形成すること、該組成物は、
- (i) 30 質量% ~ 70 質量% のアルカリ源；

( i i ) 1 5 質量 % ~ 3 5 質量 % の金属保護剤 ;

( i i i ) 2 質量 % ~ 1 0 質量 % の界面活性剤、該界面活性剤は、3 モルのエチレンオキシドを備えた C<sub>11</sub> 直鎖アルコールと、直鎖の C<sub>12</sub> - C<sub>14</sub> 第一級アルコールのエトキシレートの 7 モルとを含むアルコールエトキシレートである ;

( i v ) 5 質量 % ~ 2 0 質量 % の水 ;

( v ) 0 . 2 質量 % ~ 2 質量 % の閾値剤 ; ならびに

( v i ) 2 質量 % ~ 8 質量 % の結合剤および硬水改質剤として機能するポリマー混合物、該ポリマー混合物は、それぞれが 0 . 5 質量 % ~ 5 質量 % のポリマレイン酸およびポリアクリル酸ナトリウムからなっており、かつ該ポリマレイン酸およびポリアクリル酸ナトリウムは 1 : 1 の比率で存在する ; ならびに、  
を含んでなり、

( b ) 該基質の表面を、該組成物と接触させること、  
を含んでなる方法。

**【請求項 5】**

前記組成物が、少なくとも 3 0 0 0 p p m の濃度を有する、請求項 4 記載の方法。

**【請求項 6】**

前記組成物が固体である、請求項 4 記載の方法。

**【請求項 7】**

前記基質を、食洗機中で洗浄することを更に含む、請求項 4 記載の方法。

**【請求項 8】**

前記組成物を、使用溶液を形成するように希釈することを更に含む、請求項 4 記載の方法。